

第7回JEITAベンチャー賞 受賞企業



株式会社AiCAN

<https://www.aican-inc.com/>



設立年月日: 2020年3月3日

所在地: 神奈川県川崎市高津区坂戸3丁目2番1号
かながわサイエンスパークイノベーション
センタービル西棟713A号室

代表者: 高岡昂太 (代表取締役)

従業員数: 6名

業種: AI・情報技術分野

事業概要

子どもの安全を守る業務をサポートするサービス「AiCANサービス」を提供。AiCANサービスは、AIを搭載した業務支援アプリである「AiCANアプリ」の提供とAiCANアプリを通じた業務改善の伴走を行うサービス。「AiCANアプリ」は、タブレット等のモバイル端末から、ケースに関する記録やリスクアセスメント（ケースのリスクを把握するために用いるチェックリスト）、写真等の画像データを登録共有することができる。また、入力された情報やリスクアセスメントの内容から、AIがケースの傾向や今後の動向についての予測を掲示する。AiCAN社のメンバーは、データ解析・AI開発と児童福祉の現場の両方の知見を有しており、AIシステム開発から現場への実装までをワンストップでサポートすることができる。

審査評価

株式会社AiCANは、昨今の社会課題である児童虐待の問題解決に取り組み、子どもの安全を守る業務をサポートする「AiCANサービス」を提供している。「AiCANサービス」は、AIを搭載した業務支援アプリケーションである「AiCANアプリ」を顧客に提供し、ケースに関する記録、リスクアセスメント、写真等の画像データを登録・共有することで、AIがケースの傾向や今後の動向について予測し、児童相談所職員等の「判断の質向上」と「業務の効率化」を実現している。社会におけるウェルビーイングを目指す土台となる「安全・安心」への貢献が期待される。よって、JEITAベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

第7回JEITAベンチャー賞 受賞企業



株式会社インプリム

<https://implem.co.jp/>

設立年月日: 2017年3月1日



所在地: 東京都中野区新井1-12-12
モデリアカラズ中野2F

代表者: 内田太志 (代表取締役)

従業員数: 13名

業種: その他の分野

事業概要

オープンソースソフトウェア「プリザンター」の開発、およびプリザンターユーザーサポートの提供。
プリザンターは、昨今注目を浴びているローコード開発を行うためのプラットフォームで、プログラミングの知識が無くても、マウス操作で素早く簡単に業務アプリケーションが作成できるため、業務の変化にも素早く柔軟に対応できる。今までは業務の変化に合わせてアプリケーションに項目を追加するだけでも、多くの費用と時間を要していたが、プリザンターであればすぐに現場で、業務に合わせてカスタマイズが可能。

審査評価

株式会社インプリムは、「プリザンターUIエンジン」という独自開発のフレームワークにより、業務アプリケーションをローコード開発により簡便に作成できるプラットフォーム「プリザンター」をオープンソースで提供している。エクセルとフルカスタムの間を埋める用途を中心にして、製作結果をオープン化する条件で安く受注するというビジネスモデルにより多くの企業と提携している。業務細分化とカスタマイズの展開によるDXの推進の容易性、オープンソースによる呼び水効果、低価格でのサービス提供、Webアプリの機動性など、利用しやすさという優位性が期待される。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

第7回JEITAベンチャー賞 受賞企業



株式会社エイシング

<https://aising.jp/>



設立年月日: 2016年12月8日

所在地: 東京都港区赤坂6丁目19番45号
赤坂メルクビル1F

代表者: 出澤純一 (代表取締役CEO)

従業員数: 28名

業種: AI・情報技術分野

事業概要

機械制御や異常検知の用途に特化した独自エッジAIアルゴリズムの研究開発。顧客企業とのPoC (概念検証)、共同開発、コンサルティング および顧客企業へのAIアルゴリズムのライセンス提供。

審査評価

株式会社エイシングは製造業向けに機械制御に特化した独自エッジAIアルゴリズムを研究開発し、超軽量独自AIアルゴリズム「MST (Memory Saving Tree)」を始め、巧みなオープンクローズ戦略で主要な技術の特許化した。現在、エッジAIの導入を検討する企業に開発環境やトレーニングプログラムを含めたライセンス提供を進めており、既に複数の大企業で導入実績を上げている。今後、製造業の生産性と品質の向上に貢献することが期待される。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

第7回JEITAベンチャー賞 受賞企業



株式会社エスケーファイン

<https://sk-fine.co.jp/about.php>

設立年月日: 2018年10月17日



所在地: 滋賀県草津市野路東7丁目2番10号

代表者: 榎木秀志 (代表取締役社長)

従業員数: 8名

業種: 製造分野

事業概要

セラミック造形部品の製造販売、3Dセラミック用プリンター（3D光造形装置）の販売、委託開発・共同開発。セラミックの素材としての優位性（硬い・酸化しにくい・熱に強い等）を有したまま、微細加工が必要な医療分野（人工骨や歯科材料）や電子部品分野において、複雑な形状でも3D造形をする事が可能。

審査評価

株式会社エスケーファインは、セラミックス粒子と紫外線硬化剤との材料調合技術と高精度レーザー制御技術を融合することにより、世界最高性のセラミック造形3Dプリント技術の事業化を実現した。スラリー化されたセラミック材料を用いることで滑らかな表面形状を実現し、また紫外線レーザーによる光造形方式を用いることで複雑かつ高精細の構造体にも対応できる。製造プロセスのカスタマイズ対応や少量多品種対応が求められる中、3Dプリンターをはじめとするデジタルファブリケーション技術は、電子部品分野、半導体関連分野、インフラ分野、生体材料分野までの幅広い分野での展開が期待される。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

第7回JEITAベンチャー賞 受賞企業



株式会社otta

<https://otta.co.jp/>

otta®

設立年月日: 2014年10月24日

所在地: 福岡県福岡市博多区下川端町1-1
明治通りビジネスセンター本館6F

代表者: 山本文和 (代表取締役社長)

従業員数: 8名

業種: その他の分野

事業概要

BLE (Bluetooth Low Energy) 技術を応用したビーコン (見守り端末) と、端末から発信される電波を受信する基地局 (ルーター) の組み合わせによって、見守り端末が基地局を通過した時点・場所の情報を見守り利用者にアプリ上で伝えるサービスを提供。

GPSと比べはるかに安価に実現できるため、行政サービスとして地域の子供たちに幅広く配布ということが可能で、基地局ルーターの敷設は街中の商店・個人宅などに設置している。

審査評価

株式会社 otta は、Bluetooth Low Energy 技術を応用した見守り端末と端末から発信される電波を受信する基地局の組み合わせで、見守り端末が基地局を通過した時間と場所の情報を見守り利用者にアプリ上で伝えるサービスを展開している。当該サービスは、安価な端末の活用や地域の企業スポンサーの協力を得ることで、予算の少ない自治体や学校への導入を安易にする、明解なビジネスモデルが特徴的である。見守り対象が子供だけでなく高齢者へも展開できるなど、将来性にも期待できる。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

第7回JEITAベンチャー賞 受賞企業



ボールウェーブ株式会社

<https://www.ballwave.jp/>

設立年月日: 2015年11月10日



所在地: 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40
東北大学連携ビジネスインキュベータ 501

代表者: 赤尾慎吾 (代表取締役)

従業員数: 11名

業種: 医療・健康分野

事業概要

センサーに関する研究・開発・コンサルティングの受託事業ボールSAWセンサを用いた測定器の開発・製造・販売。

・微量水分計: 半導体プロセス管理に新たなツールを提供し、最先端半導体の安定供給を支援

・ハンディガスクロマトグラフ: 持ち運び容易な本格ガス分析装置を提供し、食品鮮度管理や有害ガス分析等をサポート

・ウイルスセンサ: 短時間で高精度な健康スクリーニングを可能にし、事業者・公共施設・医療機関の円滑な運営を支援する

審査評価

ボールウェーブ株式会社は、「ボールSAW」の原理を活用した微量水分計を開発しており、既に複数の販売実績を有し、半導体プロセス管理向けに海外大手ファンドリの認定ファシリティ・メーカーと独占販売契約も締結している。また、センサの感応膜をカラム材料にかえたガスクロマトグラフは持ち運び容易なハンディガスクロマトグラフとして製品化し、これも納品実績が出ている。感応膜を抗体あるいはアプタマとすれば、抗原-抗体反応を用いたウイルスセンサとなる等、本技術は、今後様々なセンサへの展開が期待できる。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

第7回JEITAベンチャー賞 受賞企業



Early edge賞(特別賞)

Mantra株式会社

<https://mantra.co.jp/>



設立年月日: 2020年1月28日

所在地: 東京都港区南青山7-3-6 南青山HYビル 7F
荒井倶楽部内

代表者: 石渡祥之佑 (CEO)

従業員数: 6名

業種: AI・情報技術分野

事業概要

「世界の言葉で、マンガを届ける。」ことを目指し、マンガに特化した機械翻訳技術の研究開発およびサービスを提供。2020年に公開されたマンガの多言語翻訳システム「Mantra Engine」は、国内外のマンガ配信事業者や翻訳事業者、出版社に導入され、マンガ多言語展開の高速化に寄与。2021年には、独自のマンガ機械翻訳技術が人工知能分野のトップ国際会議AAAIに採択されている。

審査評価

Mantra株式会社は、マンガに特化した自動翻訳システム「Mantra Engine」を開発した。マンガの画像データから、セリフの文字を抽出し、多言語に自動翻訳する。日本語、英語、中国語、韓国語など14カ国語に対応する。日本のマンガは世界中に愛読者が多く、国際競争力が高いが、日本の出版社が海外展開に対してリソースを十分に割けないのが現状である。このような状況で、本テクノロジーは日本のコンテンツ産業の輸出を大きく後押しする可能性がある。出版社との取り組みも具体化しており、今後事業化への展開が期待され、また、テクノロジーの応用先として極めてユニークといえる。よって、Early edge賞（特別賞）に相応しい企業と判断した。

※ JEITAベンチャー賞 Early edge賞(特別賞)とは。市場における貢献度は未知数だが、非常に高い技術を保有し、将来、大きな成長が期待できる企業を特別賞として表彰するものです。